

公開保育による施設関係者評価

日 時	令和5年8月29日（火） 午前10時～10時30分
会 場	なおみ園遊戯室
対象児	年少児 かなりや組
指導者	年少組担任 保育教諭 赤城由起子
講 師	青森中央短期大学 幼児保育科准教授 兼平友子先生
経 緯	6月23日：文書による講師派遣依頼：
	6月23日：文書による講師助言依頼：
	6月23日：文書による第三者へ来園依頼
	8月26日：講師への指導案（PDF）送信
	9月2日：第三者委員へ指導案・評価表 送付
	9月7日：文書による講師派遣依頼（前回の期日変更）
	9月7日：文書による講師助言依頼（前回の期日変更）
	9月7日：文書による第三者委員へ来園依頼（前回の期日変更）
	9月19日：公開保育実施、カンファレンス
	10月13日：公開保育について、学識者、第三者委員の評価を踏まえた園内研修
内 容	公開保育を行ない、予め当園で用意した評価票を使って評価を行う。評価票には保育の内容に関する4項目、園児の様子に関する4項目、保育者の姿勢等に関する6項目の計10項目を3段階で評価し、その他、感想やもっと良い教育保育になるための視点を記入する。
	学識者青森中央短期大学准教授 兼平友子先生、当園の施設関係第三者委員木津谷とき子氏、施設長、職員（保育教諭小嶋・赤城・今井・浅井）で評価を行う。
	集計した結果の平均値（％）を標記し、園内研修で教育保育の課題について検討する。
結 果	以下記載

公開保育の様子





領域	No.	評価内容	◎ (%)	○ (%)	△ (%)
保育内容	1	テーマの設定について年齢に対し適切でしたか	100	0	0
	2	ねらいに沿った教育保育が行えていましたか	100	0	0
	3	幼保連携型教育保育要領の内容に沿った教育保育が行えていましたか	100	0	0
	4	予想される子どもの姿や環境指導ポイントは適切でしたか	89	11	0
園児の様子	1	幼児は主体性を持って取り組んでいましたか	89	11	0
	2	園児同士声を掛け合ったり、伝え合っていましたか	78	22	0
	3	園児は楽しんで取り組んでいましたか	100	0	0
	4	園児は理解して取り組んでいましたか	89	11	0
保育者の姿勢	1	時間配分は適切でしたか	100	0	0
	2	教具・教材を適切に利用できていましたか	89	11	0
	3	保育者の園児に対する態度や言葉遣いは良かったですか。	100	0	0
	4	保育者の声や大きさや早さは園児に伝わりやすかったですか。	100	0	0
	5	保育者同士の連携はうまくいっていますか。			
	6	保育室等は整理整頓、清潔にしてありましたか。	89	11	0
指導 評価 反省 保育者		<ul style="list-style-type: none"> ・計画していた指導案の流れに沿って、活動を進めることができた。 ・子ども達が楽しみながら、準備体操、キャッチボール、ゲームに取り組むことができていた。楽しそう→やってみようという意欲に繋がることを意識した。興味の引きつけ、言葉かけを行うことができた。 ・1人の子とペアになりながら行ったが、3人組を作り、全体を見れるようにすべきだったなど感じた。次回に生かしたい。 			
よ		<ul style="list-style-type: none"> ・導入の中で、ボールの性質（転がる、はずむなど）について話した後、実際にボール遊びを進めていく中で、両足にボールを挟む動作（「りおう君がやっていたよね」）を取り入れたことが、子どもの自由遊びの中から生まれた遊び、自発性を尊重した引き出し方が良かったと思います。保育者のボールを使った動きを見て、保育者のモデル性から自分も挑戦してみたいという意欲が生まれ、遊びの連続性から楽しい、さらに挑戦してみたいという子どもの気持ちがあらわれていた。 ・二人でボールの受け渡しをやったことが3歳児の年齢を配慮した活動の流れでよかった。 ・2人で一緒に行ったり、ボール遊びを通してコミュニケーションも図られ、友達と一緒にボール遊びをすることが、なによりも楽しいと歓声を発しながら、ボール遊びに集中していたことが印象的でした。 ・振り返りで、新聞紙でどんな時にボール逃げたと聞くと、歩いた時、傾いた時などバランス関係にも気づき、子ども同士協働の動きが心のコミュニケーションに繋がっていることがよかったです。 ・何事も子ども達が一生懸命にやっている姿が可愛らしかった。 ・勝ちたい気持ちや負けたくない気持ちよりも今日の前で行うことを一生懸命にやる姿を見てとてもよいと感じた。 ・先生の方から反省で時間配分についてでていたが、私は個人的に3歳児にとってはちょうどいい時間帯だったと思います。 ・まねっこ遊びの際、いろんな動きを身近なものに例えながら行うことでよりイメージしやすく、3歳という年齢の発達に合わせて楽しく体を動かすことができていたと思う。 ・音や動きを合わせるなど、子どもたちの注目の集め方を真似したいと思った。 			

よい教育保育になるための視点、評価等

- ・できた動き、運動の難易度を少しずつ上げたことで、ボールを転がす力加減に工夫が必要な事に子どもたちが気付いて試してみる場面が自然と見られていた。
- ・できた、できないに拘らず、終始笑顔で取り組む姿が見られていたり、友達への声援が自然と聞かれたり、ゲームでは子どもたちからボールの数を増やす提案が聞こえたり、積極的に楽しむ姿がたくさん見られた活動と感じた。
- ・スモールステップで活動が構成されていて、ボール遊びが段階的に楽しめていた。1つ1つの活動がもう少しじっくり取り組める時間の確保があっても良かったのではないと思った。
- ・みんな楽しそうに、またできた達成感を感じられる活動であったと思う。
- ・同じ活動の内容の中でも、距離を変えたりの工夫で、力の加減も体験できていた。
- ・運動会のリレーの経験を振り返ったり、経験を生かした活動も取り入れられていた。
- ・友達と一緒にルールのある遊びを楽しむことで、「がんばれ」「がんばろうね」という声のかけ合い、伝え合いも行われ、また、友達の様子に気を配ったり、気付く機会や経験となっていたと思った。
- ・最初の体操のまねっこ遊びでは、うさぎやおすもうなど子どもが楽しみながら体を伸ばしたりできて良い体操であった。
- ・話を聞く時は、静かに座りボールを受け取る時も順番を待っている姿が見られて普段から「待つ姿勢」が身に付いていることが感じられた。
- ・2人ペアでボール遊びを行う中で、楽しい気持ちのまま、次のキャッチや頭上でのキャッチにうつり、どんどんやってみたいという気持ちを引き出せていたし、子どもたちも上手に転がしたり、保育者に褒められて嬉しい気持ちを持って行っていた。
- ・リレーで最初「頑張れ！」と子どもたち自身が応援していたが、新聞紙を使ってのリレーの時には応援が少なく、保育者から促すことでまた応援する姿が見られたため、保育者の働きかけの必要性、重要性を感じた。
- ・最後の振り返りの際、走ることが早くなったねとの声掛けに、「練習したもん」と喜んでる姿が見られて、頑張った様子が見られた。
- ・ライン（ビニールテープ）を引くことでの環境設定で子ども達の目印になり、所定の場所に戻ることができ、次の活動がスムーズに行われていた。保育者が普段から意識しながら行動していた事が、子ども達の動きに反映されていると思いました。
- ・園内研修のテーマ「やってみよう」「やってみよう」を大切にする教育保育にふさわしい内容であった。準備体操やボール遊びを通して一人ひとりの姿から、自発性、自主性、主体性が引き出されていた。
- ・声掛けの速さも、トーンも子ども達にふさわしかった。丁寧かつ、子ども達が理解しやすい簡潔なものだった。
- ・ボール遊びがスモールステップで段階的に行われていて良かった。
- ・保育者の援助や指導の留意点が細やかに行われていた。最初から最後まで、子ども達の気持ちを包み込みつつ、引きつけるのが魅力的な空気感だった。

カンファレンス (10:40~11:00)



施設長管理者

三歳児にふさわしい活動であった。活動から遅れる子も居らず、みんな楽しんで行っていた。幼児教育が大切。小さい頃に経験したことがの育ちが身に付いて成長する。

第三者委員

・公開保育大変お疲れ様でした。指導案に沿って活動がスムーズに流れる中、子どもたちも十分に楽しんでおり、ねらいが達成できたと思います。また、子どもたちの個性もいろいろ見られていました。(よくも悪しきも)これからの保育課題にも繋がる事でしょう。本時の活動では子ども同士のコミュニケーション、相手の気持ちを考える等の保育者の目的、意図を伺うことができたことと！そして素晴らしい保育内容だったと思います。私はどちらかと言うと“自由遊び”を大切にしてきました。遊びの中には創造性、社会性、自主性他いろいろな発達の要素が含まれていると思います。よく観察をして機会を捉えて工夫した遊びを提

	<p>供し、教え込むのではなく、これからもいろいろな体験をさせてあげましょう。ご苦労様でした。そしてありがとうございました。</p>
<p>講師総評</p>	<p>赤城先生、公開保育お疲れ様でした。 今回のボール遊びには、ボールの特徴に触れるだけでなく、子どもたち同士のコミュニケーションを高めるため、という意図があったということにとっても感銘を受けました。日頃から子どもの育ちを総合的に捉え保育されているからこそそのものだと思います。 活動の流れもとても自然でした。3歳児の子どもたちに無理なく、それでも少しかだけチャレンジする内容で、子どもたちも終始ワクワク感を持ったままできていたように思います。 最後のゲームでも、新聞紙にしたことで、思い通りにはならないボールの動きに対して、新聞紙の両端を一緒に片手で持つなどの子どもたちなりの工夫が見られました。このことは、ねらいとしてあげていたように、ボール(球)の特徴を子どもたちが感覚として感じられたので、ボールの扱い方を考えたのだと思います。 今回の活動は子どもたちも十分満足した活動となったのではないかと思います。物の形の性質や特徴について幼児期の間たくさん触れることで、子どもたちのこれからの学習・学びにつながっていくと思いますので、今回のようにいろいろな形を体感できる活動をこれからも続けていってください。 保育を拝見させていただきまして、ありがとうございました。</p>
<p>園内研修カンファレンス</p>	<p>公開保育担当者の評価反省、管理者評価、第三者委員評価、講師の助言を読み合わせた後、今後の公開保育の在り方も含めて討議した。 ・時間配分に関しては、今回30分間という時間内では少し短さを感じた。今後は30～40分で活動時間を設定し、活動に合わせて終了時間を調節してはどうか。 ・実施する教育保育の領域は、事前に話し合っ設定する。 ・今後の園内での公開保育の実施時期について検討した。実施時期については12月中に、同日で3クラス一緒に行い、個々に自己評価を行う予定としてはどうか。</p>